



マチカラ

地まちの子カラ
名古屋都市センター調査課支援班

小さな一歩は、
大きな進歩。

地域で、誰かのために。そして、
自分のために。みなさんがやって
みたいことは、実にさまざま。そ
れは明確なビジョンがあれば、芽
生えただけの思いもあります。令和8年度地域まちづくり支援制度活動助成（スタートアップ助成／成長支援・実践活動助成）
の申請がスタート。助成金を受けたい団体を募集します！地域まちづくり活動助成の中で、名古屋都市センター支援班は丁寧に伴
走し、それぞれの思いをかたちにしていきます。まずは事前相談にお越しください。

活動概要、
エリアは？

やりたいことは
なんですか？

名古屋都市センター支援班とは！？



1991年に設立した「名古屋都市センター」は、
まちづくりの交流拠点として、「調査・研究」「情
報収集・提供」「人材育成・交流」を3本柱と
して事業を展開。支援班は「人材育成・交流」
を担当しています。

事前相談

4/1~4/30



期限直前は
大変混み合うので
お早めに！

POINT!

大切なのは申請までの「準備」期間。
「大切にしていること」
「本当にやりたいこと」を
しっかり見定め、整理しましょう。

申請書類

書類を細かく
チェックし、
締切までに
不備なく提出！

申請

4/1~5/15

※要予約
※成長支援・実践活動助成は
「地域まちづくり活動団体」
への事前登録が必要です。

事務局が認めた場合は
メール提出でもOK!

大変ですが、
みなさんの思いを
伝えてください！

活動期間

~2月頃



『マチカラ』やInstagram、広報
コーナーで活動の様子を発信、
広報面もサポートします！
※令和7年度の事例を裏面で紹介

10~11月頃の中間報告（成長支援・実践
活動助成のみ）で、活動状況を書類と対面
で伺い、フィードバックを行います。

◀「他の団体とつながりたい！」という声
から生まれたスタートアップ助成団体
の交流座談会も実施。

活動開始

活動開始



助成決定後～

私たち支援班も各地の現場へ
行って、助成団体のみなさん
の活動を伴走支援します。活
動期間中のお悩みなど、なん
でもご相談ください。

報告会

3~4月頃



スタートアップ助
成、成長支援・実践
活動助成ともに活動
報告会を行います。
毎年、思いのこもっ
た活動の感想や事例の発表があり、団体同士の交流タイムも！
1年間、活動お疲れさまでした！！

POINT!

活動実績を「マチの子カラ」にして、
次の活動につなげましょう

GO NEXT!

- 地域連携
- 地域PR
- まち歩き
- 構想づくり
- 居場所づくり
- 仲間づくり
- マルシェ
- 社会実験
- 困りごと解決
- エリアマネジメント
- 防災
- 空き地活用

まちづくり活動に 助成制度を活用しよう！

「やってみたい」が
まちとつながる。

スタートアップ助成
最大 **10** 万円

対象：活動初期のまちづくり団体
またはこれから活動を始めるグループ

成長支援・実践活動助成
最大 **50** 万円

対象：地域まちづくりを目的とした
活動実績がある団体

助成制度
詳細はこちら



選考会

申請後 6月中旬頃にスタートアップ助成の書類審査、
5月下旬～6月上旬頃に成長支援・実践活動助成のプ
レゼンテーション審査があります。6月中旬～下旬頃
に助成団体を決定！



GO FOR IT!
LET'S ACTION!



活動開始

支援班も現場へ！



助成団体の体験談

助成をきっかけに目標や方向
性が言語化され、活動にリズム
が生まれました。団体間の
交流や広報物でのPRで連携
の幅も広がりました。都市セ
ンターに認められた活動とい
うことが大きな後ろ盾となり、
自信を持って活動することが
できました。何より都市セ
ンターの方が伴走してくだ
さり、とても心強かったです。

令和4・5・6年度助成
ほうせいだんちーず

立ち上げたばかりの私たち
にとって、助成金を活用したバ
ンフレットやホームページの
作成、都市センターのみなさん
による伴走支援は、団体の
信頼向上やメンバーの自信に
つながりました。今年はそれ
らの成果を活かし、目標の一
つであった地域の小学校との
連携を実現することができま
した！

令和6・7年度助成
名駅四丁目まちづくり協議会

団体のみなさんの役に立つ講
座や企画を随時開催してい
ます。ぜひご参加ください！

所要時間5分!

リニューアルした広報紙のアンケートにご協力ください。
アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で10名の方にアスナル金山お買物券500円分をプレゼント！
受付期間4月24日(金)まで！

※いただいた個人情報は賞品の発送のみに使用いたします。 ※当選者発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
© 2026 nagoya urban institute. Printed in Japan. 掲載内容は2026年3月6日現在の情報です。本紙の記事、写真などの無断複写・複製・転載を禁じます。

「地域の力(考え)で、地域を動かす」

Instagram @nui.nagoya.machidukuri

Web www.nup.or.jp/nui/

TRY LOCAL

支援班は、
みなさんの活動を応援します！

まずは事前相談にお越しください。

「名古屋都市センター」では、まちづくり活動を行う団体向けに、仲間づくりから実践まで、まちづくり活動の段階に応じた助成メニューを用意しています。職員が訪れた現場の様子をご紹介します。 ※令和7年度の助成募集は終了しました。

上社ウェルまちビーイング

活動地域 名東区・上社学区 / Instagram @kamiyashiro_well_machi_being
ふれあい生涯学習まつり まちづくりカフェ
11/8 (土) 10:00 ~ 15:00



名東生涯学習センターで「子どもの、子どもによる、子どものためのまちづくりカフェ」を開催しました。ここでは、「まちにこうなってほしい」という思いを書いてもらう「まちづくり絵馬」のイベントをワークショップにアップデートし、1枚目に書いた思いから、さらに自分の心に問いかけ考え、その思いの元にある真の願いを2枚目に書いてもらうといった形式としました。24人のまちの人が取り組んだこのイベントを今後、地域コミュニティの振興につなげていきたいです。

烏が池 むすびばプロジェクト

活動地域 東区 / Instagram @karasugaik
烏が池癒しのマルシェ&落語会
11/3 (月・祝) 10:00 ~ 15:00



養念寺の烏が池庭園を中心としたこのマルシェは、この場の持つ魅力を最大限に利用して、都会にいながらにして安らぎと癒しを感じていただき、そこに集う人々(来場者、出店者、スタッフ)が人と人の対話を通してつながっていくことを願っています。今年度もお天気と皆さまの協力で恵まれ、活気と笑顔あふれるマルシェとなりました。今後も地域貢献のためにさらに何ができるか模索してまいります。

対話コミュニティ COCOCHI

活動地域 西区・大野木学区 / Instagram @cocochi_dialogue
大野木みんなまちフェス～みんなであそぼう！まちでつながる1日～
1/18 (日) 12:00 ~ 16:00



「大野木みんなまちづくりプロジェクト」を立ち上げ、まち歩き「Feel度Walkと知図」を全3回実施。大野木学区9つの町を巡り、それぞれの発見を共有し、学区MAP「みんな知図」を作成しました。そのプロセスから「大野木みんなまちフェス」へ発展。自治会や老人クラブなどの協力のもと開催し、約100名が参加。みんな知図の展示やポッチャ、コーンホール、昔遊びを通して多世代の交流が生まれ、まちのこれからを考える機会となりました。

いしきマルシェ実行委員会

活動地域 中川区・正色学区下之一色に隣接する地域 / Instagram @ishikimarche
第8回いしきマルシェ 秋まつり
11/22 (土) 10:00 ~ 14:00



「いしきマルシェ」は、名古屋市中川区下之一色の町の地域を盛り上げ、住民同士の交流や世代間のつながりを深めるために立ち上がった有志の集まりです。昔の賑わいを取り戻しながら、地元の人々が気軽に集い楽しめる場をつくり、多世代の参加と地域愛着を育むことを目指しています。どんぐり公園(正色公園)にて「第8回いしきマルシェ秋まつり」を開催。さかなのまち図書館本棚づくりワークショップや、子ども向けのお仕事体験などを行いました。

こだまプラス

活動地域 名古屋市立立見玉小学校内「こだまの森」 / Instagram @kodama707
お花教室 植物を使ってクリスマスツリーを作ろう
11/22 (土) 10:00 ~ 11:00



「こだまプラス」の活動のひとつとして、「植物でアート」と題した工作教室を行っています。日増しに子どもたちと植物の関わりが減っている今、植物の役割や大切さを伝えるため、西区立見玉小学校の庭園に四季折々の樹木植物を植栽管理し、トワイライトでクリスマスツリーやミニ門松を作りました。今後は子どもたちが拾った落ち葉や作った押し花を使って、楽しい工作ができたらと予定しています。

かみやしろ居場所づくり同好会

活動地域 上社を中心とした名東区内 / Instagram @kamiyashiro_talk23
上社よりみち駅市～ Kamiyashiro Station Café ~
11/9 (日) 11:00 ~ 16:00



上社ターミナルビルエントランスコートでのイベントvol.3を実施しました。今回は、上社界隈の事業者の皆さまと実行委員会を組み、イベント名も「上社よりみち駅市」に改名！ロゴマークは前回のイベント出店者ミツトモさんのデザインです。当日は、28の出店者さん、ミニステージ出演の4団体さんと共に、上社に居心地よい空間をつくりました。前々夜祭として金曜夜には、名古屋学芸大学の学生さんによる若人映像祭も実施しました！

名駅四丁目まちづくり協議会

活動地域 中川区・泥江町通りを中心とした名駅四丁目内 / Instagram @mei4machiky
めいよんの不思議を発見する
1/18 (日) 10:00 ~ 12:00



名古屋市立笹島小・中学校の協力のもと、名駅四丁目地域で魅力的で多様なスポットを掲載したマップを制作し、子どもたちが楽しみながらまちを学ぶ「まちタンケイイベント」を開催しました。当日参加した40名ほどの親子が、マップを手に地域のスポットを発見し、大人への取材を通して楽しくまちのなりたちを学びました。子どもたちがまちづくりの概念を感じ、次世代のまちづくりの担い手として成長してほしいと願っています。

明治・内田橋堀川まちづくり協議会

活動地域 南区・明治学区一円 / Instagram @uchidabashi_shotengai
ビジョンマップ作成委員会
10/23 (木) 11:00 ~ 12:00



内田橋商店街を含む名古屋南区の「明治学区」の魅力を見つめ直すマップ作成プロジェクトが、明治学区連絡協議会の熱意によって進められました。この地に根付く押村氏と明治学区連絡協議会の森氏が車で学区を巡り、思い出の場所や見どころを地図に落とし込む活動を行いました。明治学区の活性化には、堀川護岸の整備が欠かせません。「堀川と新堀川の在り方を考え、堀川護岸をウォークラブルなまちへ変えていく」という思いをマップに込めて、11月の「内田橋まつり」で配布しました。

有松まちづくりの会

活動地域 緑区・有松東海道一帯 / Web www.arimatsunomachi.com/
春のありまつさんぽ道 福よせ雛と町歩き
2/21 (土) ~ 3/22 (日)



早春の有松に賑わいを♡と始められた有松での福よせ雛の展示は11年目を迎えました。家庭での雛人形としての役目を終えた福よせ雛、第2の人生？を有松東海道でハメを外して謳歌して、訪れる方々を楽しませます。仕掛け人は学生さんや地域の方々。町家の格子に屋根に、小路の一角にほっこりスポットがいっぱい。園児さんの塗り絵や学生川柳、大人川柳も花を添えて、雛人形のリユース事業を盛り上げます。

東桜エリアマネジメント協議会

活動地域 東区中区・東桜一丁目、新栄二丁目 / Instagram @higashisakura_am
HIGASHI SAKURA BLOOMING ~モビリティ & パーク~
2/11 (水・祝) ~ 3/1 (日)



2月13日(金)のSRT開通に合わせて、久屋大通公園希望の広場にて社会実験を行いました！SRT乗降前後の快適性を高める滞留空間の整備やエリアに関する情報発信、魅力的なスポットを回る謎解きラリー企画などを実施しました。また、期間内の休日には、お隣で活動する「マチゾラシンサカエマチ」の皆さまにもご協力いただきながら、マルシェや賑わい創出イベントなども実施し、公共空間の新しい使い方を実践する貴重な機会となりました！

平針北学区連絡協議会

活動地域 天白区・平針北小学校学区内 / Instagram @hirabarikitagakku
ホームページ再構築プロジェクト「地域住民意見交換会」
11/16 (日) 10:00 ~ 12:00



「地域住民意見交換会」では、地域の未来をつくるために「情報発信の充実」「町内会への参加のしやすさ」「地域力の強化」が大きなテーマとなりました。スマホ対応やSNS連携など、誰もがアクセスしやすい仕組みづくりが求められています。住民の声を反映した新しいホームページを通じて、活動が見える地域、参加しやすい地域、そしてつながりの強い地域を目指していきます。

地まちチャレンジインタビュー



堀江浩彰さんご紹介
長野光太郎 さん

東海旅客鉄道株式会社 事業推進本部 地域連携・暮らしづくり課長代理

「まちの一員」として共に創り上げていく
JR東海で、名古屋をはじめ東海エリアを中心に地域連携・地域創生の業務に取り組む長野さん。リニア中央新幹線の開業を控え名古屋駅周辺が大きな転機を迎える中で、日々地域との関係づくりや新たな価値創出に向かっています。
「JRの人」という肩書きで見られることも多いようですが、長野さんが大切にしているのは「まちの一員」になるということ。一人のプレーヤーとして地域の方々に関わり続けています。「かつては城を中心にまちが形成されていましたが、現在は駅がまちの核となる時代」と語る長野さん。入社した当初から、駅を起点に人が集い、訪れる人にも地域にも価値が生まれるような場づくりに携わりたいと考えていたそうです。現組織の前身である沿線事業開発チームの立ち上げ時には、自ら手を挙げて加わりました。
リニア開業は大きな節目ですが、ハードを整える前からソフトのつながりを築くことが大切。「地道な取り組みを積み重ね、人を呼び込みたい。奪い合うのではなく、共に創り上げていく。名古屋の大きな変化の中心に立つ長野さんは、その先をまっすぐ見据えています。



名古屋都市センター

名古屋市中区金山町1-1-1 金山南ビル内
問い合わせ / TEL 052-678-2214 休館日/月曜・年末年始
※令和8年度から調査支援班の窓口業務は原則として平日の月～金曜に行います。
JR・名鉄・地下鉄「金山」駅南口すぐ

支援班は13階にいます